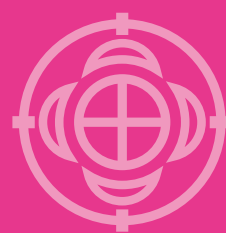




町内を華やかに彩る田子の桜

田子町 議会だより

2017



第91号

平成29年4月26日発行
青森県田子町議会

目次

平成29年度予算が決まる	2
議案32件を審議	5
一般質問に2議員登壇	6
議員と町民の意見交換会開催	12

3月定例会

平成29年第1回定例会は3月3日から10日までの8日間の会期で開催されました。6日の一般質問には2人の議員が、施政方針に対する質問には1人の議員が登壇し、町政全般にわたり活発な議論を交わしました。7日には議案審議があり、平成29年度予算を除く議案31件について審議しました。その後、予算特別委員会を設置して予算特別委員長を決め、8日から10日にかけて、平成29年度の一般会計予算と5特別会計予算について審議しました。



民生費 10億1236万円

- 町社会福祉協議会助成金 1140万円
- 障害者福祉 2億1115万円
- 田子保育園保育給付費 1億556万円
- 田子保育園移転新設整備支援 3848万円
- 子育て支援 6330万円
- 高齢者福祉・医療費 2億5365万円

衛生費 4億3031万円

- 三戸地区環境整備事務組合負担金 1億3901万円
- 健診委託料 1563万円
- 予防接種事業補助金・委託金 1億8123万円
- 合併処理浄化槽設置事業費補助金 764万円

公債費 6億3696万円

- 町の借金返済に使う費用

総務費 9億651万円

- 公共サイン整備工事 2000万円
- タプコピアンプラザ及びTCV管理運営事業 1億117万円
- 食と観光振興推進事業補助金 3955万円
- ふるさと納税記念品 2575万円
- 国際交流 1991万円
- 集会施設改修 2424万円
- 協働のまちづくり 660万円
- 定住移住促進費 2594万円

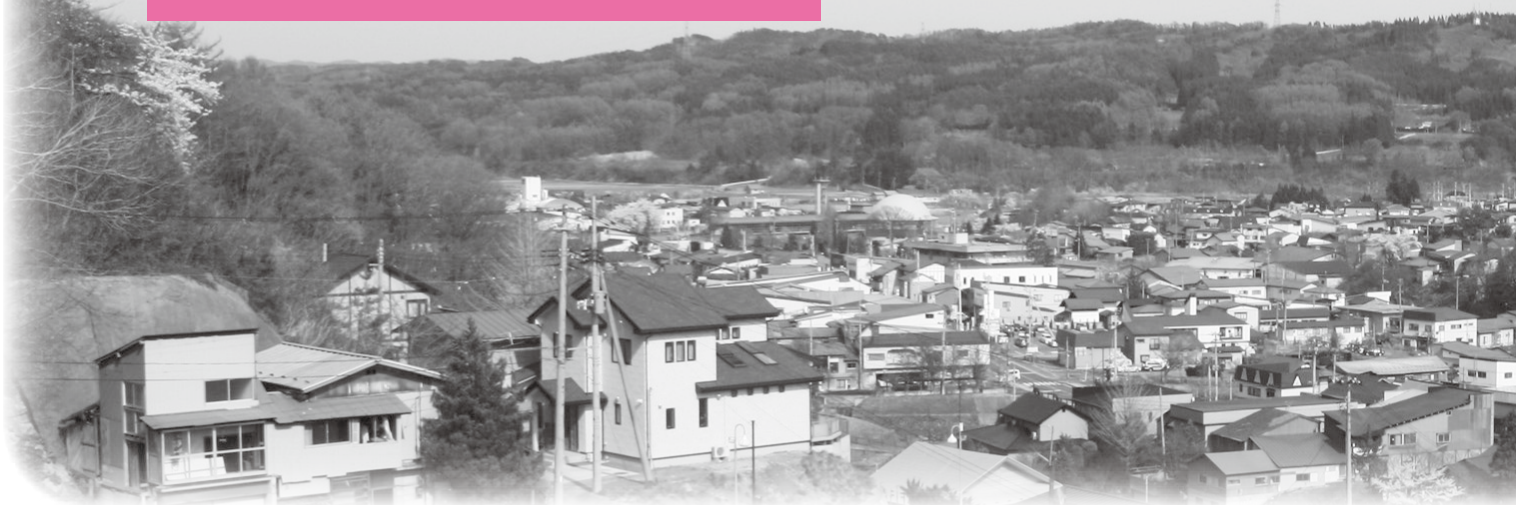
商工費 1億1583万円

- 東京田子会補助金 470万円
- 大黒森公共施設管理委託料 450万円
- イベント協力事業補助金 700万円

農林水産業費 6億369万円

- 中山間地域等直接支払制度交付金 3768万円
- 青年就農給付金事業補助金 1575万円
- 小雷鉢貫通線林道開設工事 9885万円
- にんにく総合振興費 1億1072万円

平成29年度当初予算を採決



教育費 4億6747万円

- 小中学校スクールバス運行委託料 2714万円
- 奨学資金基金積立金 1221万円
- 清水頭小学校改修工事 4243万円
- 学校給食運営費 7135万円
- 田子小学校グラウンド改修事業 5720万円

土木費 2億9477万円

- 道路新設改良工事 8510万円
- 橋梁定期点検・長寿命化計画策定業務委託料 4000万円
- 除雪委託料 1511万円
- 安全安心住宅リフォーム促進支援事業補助金 400万円

その他

- ▽議会費 7734万円
- ▽労働費 131万円
- ▽災害復旧費 43万円
- ▽諸支出金 1014万円

消防費 1億5494万円

- 消防団員報酬（278人） 435万円
- 八戸広域市町村圏事務組合消防費負担金 1億1493万円
- 自主防災組織防災資機材購入事業費補助金 180万円

●平成29年度各会計の予算額

会計区分	予算額
一般会計	47億2200万円
特別会計	
国民健康保険事業	10億4500万円
後期高齢者医療	6800万円
介護保険事業	10億3500万円
田子町立田子診療所及び介護老人保健施設事業	4億5000万円
合計	73億2000万円

会計区分		歳入	歳出
企業会計	水道事業		
	収益的収入	1億6615万9千円	—
	収益的支出	—	1億6062万2千円
	資本的収入	1億4990万円	—
	資本的支出	—	2億2607万2千円

予算特別委員会で平成29年度予算を審査

平成29年度一般会計予算と、国民健康保険事業勘定特別会計予算他4特別会計予算について、予算特別委員会を設置し、3月8日から10日までの日程で審査しました。

委員長に日沢一雄議員が、副委員長に砂子田康雄議員が選任され、厳正な審査が行われました。ここでは主な質疑を要約して掲載します。

歳入

地方交付税

22億2500万円

問 尾形委員

人口が少なくなってきたが、今後の見通しはどう予想をしているか。

答 原副町長

地方交付税の大きな要素は人口であり、特に国勢調査の人口がかなりのウエイトを占めている。今のところは課長級の定年退職による差額分で10年くらいは何とかできると考える。

選挙管理委員会費

501万円

問 蹴揚委員

選挙の投票時間の見直しについて、4年前から意見を出しているつもりだが話は進んでいるか。若手県軽米町、洋野町の投票時間が6時で締め切っている。選挙管理委員会と総務課と、どの辺のところまで話は進んでいるか。

答 山本町長

管理型経費よりは創造型経費の方が優先するというのがこの10年間でやっていきたいことで、産業を中心として創造型の経費をかけることによって人材を育成し産業を強化する。創造的な経費を使うことによって産業を育て、若い世代が帰ってこれるような仕組みを作っていきたい。

歳出

清掃費

1億1846万円

問 沢口博二委員

ごみの分別に関して、現状と今後についてどうお考えか。

答 中澤住民課長

ごみの分別について、まず資源物ということでペットボトル、ガラスビン関係、雑紙で、住民の方々にお願いを申し上げている。実績的には平成26年度は、資源物の回収実績が95トンほどだったのが、27年度では504トンに増えている。そういう意味では、非常に住民の方々にご協力いただいている。

各団体・自治会等ではストックヤードでの分別により、全体で約50万円程度の収入になり、いろいろな活動費の一助にもなっている。今後とも分別を住民の皆様方にも取り組んでいただくように、普及啓発に取り組んでいきたいと考えている。

熊捕獲罾購入

18万円

問 欠端委員

熊の捕獲罾購入は1基だけか。カラスの被害もかなりあるが、こういうものの罾は考えられないか。

答 内沢産業振興課長

熊の罾の購入は1基のみとなっている。罾は十分にあるが、使っていると曲げられたりする。予備として1台確保しておかなければならず購入するもの。カラスの罾については、今は考えていない。

消火栓用ホース等購入事業費補助金

36万円

問 宇藤委員

複数箇所ホースがある自治会もあり、自治会の負担の軽減を図っていたらどうか。お願いしたが、今後ご検討いただけるか。

答 山本総務課長

消火栓のホースの購入補助だが、現在は自治会に対しては2分の1の補助ということになっている。自主防災組織を結成してれば、さらに4分の1の補助があり、実質4分の1の負担でホースの整備ができる。

要望 宇藤委員

自治会の方も構成人数も減ってきており、消防団員の数も年々減ってきている。負担の軽減を図るように検討課題としてご協議いただきたい。

審議結果

補正予算や条例改正など、
32件の議案が提出され、審議しました。
結果を一覧で掲載します。

議案番号	件名と主な内容	議決結果
議案第2号	平成29年度田子町一般会計予算について	原案可決 (賛10・否0)
議案第3号	平成29年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計予算について	原案可決 (賛10・否0)
議案第4号	平成29年度田子町後期高齢者医療特別会計予算について	原案可決 (賛10・否0)
議案第5号	平成29年度田子町介護保険事業勘定特別会計予算について	原案可決 (賛10・否0)
議案第6号	平成29年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計予算について	原案可決 (賛10・否0)
議案第7号	平成29年度田子町水道事業特別会計予算について	原案可決 (賛10・否0)
議案第8号	田子町タップコピアンプラザ及び田子町ケーブルテレビジョンに係る指定管理者の指定について 指定管理者 公益財団法人 にんにくネットワーク 指定の期間 平成29年4月1日から平成32年3月31日まで	原案可決 (賛10・否0)
議案第9号	田子町学童保育施設に係る指定管理者の指定について 指定管理者 社会福祉法人 田子町社会福祉協議会 指定の期間 平成29年4月1日から平成32年3月31日まで	原案可決 (賛10・否0)
議案第10号	大黒森施設に係る指定管理者の指定について 指定管理者 大黒森タップコプがっこう 指定の期間 平成29年4月1日から平成30年3月31日まで	原案可決 (賛10・否0)
議案第11号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛10・否0)
議案第12号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛10・否0)
議案第13号	職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛10・否0)
議案第14号	田子町介護保険条例の一部改正について	原案可決 (賛10・否0)
議案第15号	田子町介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛10・否0)
議案第16号	田子町介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛10・否0)
議案第17号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決 (賛10・否0)
議案第18号	田子町教職員住宅使用料条例の一部を改正する条例について	原案可決 (賛10・否0)

議案番号	件名と主な内容	議決結果
議案第19号	田子町いじめ防止対策審議会条例の制定について	原案可決 (賛10・否0)
議案第20号	連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結について	原案可決 (賛10・否0)
議案第21号	定住自立圏形成協定の廃止について	原案可決 (賛10・否0)
議案第22号	田子町議会の議決すべき事件を定める条例の一部改正について	原案可決 (賛10・否0)
議案第23号	権利の放棄について 八戸地域広域市町村圏事務組合において、ふるさと市町村圏基金を取り崩し、八戸圏域連携中枢都市圏の連携事業の経費に充てるため、同基金に対する出資金にかかる権利を放棄するもの。	原案可決 (賛10・否0)
議案第24号	八戸地域広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更について	原案可決 (賛10・否0)
議案第25号	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について	原案可決 (賛10・否0)
議案第26号	田子町固定資産評価審査委員会委員の選任について 月館勝男氏の任期満了に伴い、新たに平山武美氏を任命するもの。 任期：平成29年3月16日から平成32年3月15日まで（3年）	同意可決 (賛10・否0)
議案第27号	平成28年度田子町一般会計補正予算（第7号）について	原案可決 (賛10・否0)
議案第28号	平成28年度田子町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算（第4号）について	原案可決 (賛10・否0)
議案第29号	平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	原案可決 (賛10・否0)
議案第30号	平成28年度田子町介護保険事業勘定特別会計補正予算（第4号）について	原案可決 (賛10・否0)
議案第31号	平成28年度田子町国民健康保険町立田子診療所及び介護老人保健施設事業特別会計補正予算（第4号）について	原案可決 (賛10・否0)
議案第32号	平成28年度田子町水道事業特別会計補正予算（第4号）について	原案可決 (賛10・否0)
議案第33号	田子町副町長の選任について 現在副町長の原昌徳氏の任期満了に伴い、引き続き原氏を選任するため、議会の同意を求めるもの。	同意可決 (賛9・否1)

第1回臨時議会

平成29年第1回臨時議会は、2月2日の1日間の会期で開催されました。

補正予算1件について町長から提案理由の説明があった後、審議しました。

●議案第1号

平成28年度田子町一般会計補正予算（第6号）

▽内容 田子小学校ゲラウンド改修事業、並びに、にんにくオリジナル種子増殖事業に係る予算補正

▽審議結果 可決

一般質問

一般質問は、町政全般にわたって町に疑問点を問いただし、議員自らの政策提言を行う大事な議員活動の場です。3月定例会では議員2人が一般質問を行いました。



欠端 則夫 議員

田子牛について

【質問】

農業者の事務能力では厳しいと思われるので、町の方で希望をとって、牛クラスター事業の事務をまとめて行えないのか。

【町長答弁】

本事業の目的として、地域ぐるみで高収益型の畜産を実現するための体制を構築する必要があり、これから必要とされる牛舎建設などの緊急的な対応として、

【町長答弁】

早急に畜産農家全体の現状把握に努めるとともに、畜産農家個々の経営計画などを勘案したうえ、総体的な支援ができるよう検討・協議を進め、用途に対応した事業を展開する。事業実施にあたっては、行政、関係団体、畜産農家が一体となり、田子町の畜産振興を図る。

産業別人口と増減に対する町の考えについて

【質問1】

先般終わった国勢調査の各産業の産業別人口と増減、性別、年齢別を示していただきたい。今回のデータがまだ出ていなければ前回、前々回との比較で示していただきたい。

【町長答弁】

平成22年国勢調査の就業者総数は3264人で、平成17年と比較し517人、13・7%の減少。農業、林業の就業者数は1254人で、平成17年と比較し240人の減少、建設業や製造業などの就業者数は711人で平成17年と比較し159人の減少、サービス業や卸売・小売業、飲食店業などの就業者数は1

299人で平成17年と比較し118人の減少となっている。

【質問2】

町では各産業別のパーセント、割合を、大まかにどれくらいを念頭に置いているか。また、対策をどう考えるか。

【町長答弁】

町では「この部門の就業者割合を何%にする」というような具体的な設定はしていないが、将来にわたって人口減少対策を継続していくことが重要であると考えている。

町有林と林業について

【質問1】

町有林での収入と管理費用は。また、管理は誰が行っているか。

【町長答弁】

町有林管理費用としては600万円で、立木売却収入は460万円。基本的には町が管理を行っている。

【質問2】

林業をしている地元業者をどれくらい利用しているか。

【町長答弁】

青森県森林整備作業指名競争入札登録業者の田子町及び田子町近郊業者のうち3者を選定している。今後、可能な限り町内の林業事業者等の雇用を図る。



伐採作業の様子



沢口博二 議員

にんにく種子増殖事業について

【質問1】
種子配布計画の内容を教えてください。

【町長答弁】
「増殖検討委員会」において、3月末を目標に、配布方法、価格等を決定し、皆様にお知らせしたい。

【質問2】
独立行政法人青森県産業技術センターへの委託料について、昨年、本年を含めた総投資額を教えてください。

【町長答弁】
委託料は1410万円。投資額は28年、29

年であわせて約8800万円である。

【質問3】
今後の増殖、配布の予定は。

【町長答弁】
今後も、オリジナル種子の流通のため、負担の少ない価格で販売するよう、増殖していきたい。

道路の整備補修について

【質問1】
整備、補修の要望に對して、どのような基準で優先順位を決めているのか。

【町長答弁】
道路の性格、現状等、制度事業の利用可否を検討し、総合的に勘案し早期に対応できるように実施している。

【質問2】
住民が主体となり、行政、業者と連携しながら、地域の道路補修を実施する体制はできないか。

【町長答弁】
「協働のまちづくり活動支援事業」では、20万円の補助が可能。関係者が主体として実施するのであれば、建設課に相談していただきたい。

林業の活性化について

【質問1】
六戸のファーストプロライウッド(株)、一戸のバイオ事業所への田子からの木材搬出はどの程度なのか。

【町長答弁】
事業者からの聞き取りでは、田子からの木材運搬はあるようだが、自治体ごとの搬入量は把握していないとのことであった。

【質問3】
山口向の町有林、伐採木が一部放置されているとのことであるが、事実はどうか。

【町長答弁】
三八森林組合に確認したが、去年9月には搬出は完了とのこと。搬出先への待合として一定期間積んでおくこともあるとのこと。

【質問2】
町としての今後の対応は。

【町長答弁】
町では「森林資源活用検討委員会」を立ち上げ、町の森林資源の活用に向け、森づくり、森活かしの2つの視点で、町有林の有効活用、事業化の可能性を検討、研究しているところである。



道路改良工事の様子

施政方針に対する質問

3月定例会では、翌年度の町政運営について、町長が施政方針を述べます。議員はその施政方針に対し、疑問点等を質問します。今回は議員1人が質問しました。

沢口博二 議員

人口減少の問題について

【質問1】

具体的な施策を示してほしい。

【町長答弁】

総合戦略をたて、社会減、自然減に対し、具体的な対策を練っている。各産業ごとの支援や調査研究等を行い、人口減少に取り組んでまいりたい。

【質問2】
国、県との連携はできているのか。

【町長答弁】

国では「まち、ひと、しごと創生総合本部」を設置して対策を進めている。

県では、「未来を変え、挑戦、人口減少対策

産業全般について

【質問1】

大局的視野に立ち、フェザン通りの再開発は考えられないか。

【町長答弁】

現在、「商店街活性化事業」による支援を行い、「創業実践塾」を開講し、商店街の活性化を図っている。再開発等は現在では考えていない。

【質問2】

J A八戸との連携協力が薄い感じを受けるが、協力しての事業は考えていないか。

【町長答弁】

現在も連携、協力は進めている。農作物の生産への助言、指導をいただいたり、にんにくC A冷蔵庫の指定管

漆の産業化について

【質問1】

そろそろ、漆の産業化へ向けて動き出すべきではないか。

【町長答弁】

町では「森林資源活用検討委員会」を立ち上げ、その中で現状と課題を洗い出し、協議を進めているところである。

【質問2】

漆製品に関連して、漆を塗る木工品作りを産業として養成するつもりはないか。

【町長答弁】

町では全国唯一の漆掻き用具制作技術職人がいることから、その伝承、保存を図りながら、調査、研究したい。

【質問3】

第一線を退いた大工職人等を活かし、木工品作成の組織化はできないか。

【町長答弁】

それを目指して、「森林資源活用検討委員会」を作った。木材を活用したクラフト作家の育成も含め、今後努めたいと思う。



田子の漆掻き用具職人である中畑氏の作成した漆掻き用具

議員活動報告

議員はそれぞれ、議会運営（議会広報編集）委員会、総務・文教常任委員会、産業・民生常任委員会に5人ずつ所属しています。また、特別委員会の活動や、町政に活かすため研修会の参加、先進地の視察を行っています。

協議

○実施日 1月27日

2月2日開会の平成29年第1回臨時会の議事日程を協議。

○実施日 1月27日

2月22日

3月3日開会の平成29年第1回定例会の議事日程を協議し、事前に通告された一般質問及び施政方針に対する質問の内容を校閲した。

議会広報編集委員会

○実施日 1月27日

議会だより第90号の内容について発行前の確認した。

○実施日 1月27日

議会だより第91号の原稿作成担当議員の決定と、4月27日に発行予定とするスケジュールなどを協議した。

定例会の円滑な運営に向け協議

議会運営委員会（議会広報編集委員会）

【構成委員】 宮村尚哉委員長 宇藤大介副委員長 日沢一雄委員
尾形憲男委員 沢口博二委員

事務事業調査

○実施日 1月25日

委員会を開催し、所管に係る事務事業の調査を行った。

【教育課関係】

1月25日の委員会では、田子小学校グラウンド改修事業と給食センターボイラー事故について担当課から説明があった。2月14日に行われた委員会では、田子町いじめ防止対策審議会条例の制定について。町内の小・中学校及び生涯学習の強化を目的に「学びのアドバイザー」を設置することに伴い、関係条例の一部を改正、教職員住宅の解体撤去に伴う条例の一部改正について説明があった。

【総務課関係】

普通交付税や臨時財政対策債について説明があった。主な歳出では、財務書類作成支援業務委託料やタプロビアンプラザ空調設備設計料などを計上しているとのことだった。

【政策推進課関係】

広域連携については、平成29年度八戸圏域連携中核都市圏関連実施予定事業の説明があった。

【税務課関係】

税の徴収状況について説明があり、昨年度と比べるとわずかに減らなっていた。

小・中学校に「学びのアドバイザー」設置

総務・文教常任委員会

【構成委員】 尾形憲男委員長 宮村尚哉副委員長 宇藤大介委員
椛本義見委員 澤口勝委員

事務事業調査

○実施日 1月25日

委員会を開催し所管に係る事務事業の調査を行った。

【診療所

・老健施設運営】

3月補正で2900万円ほどの繰り入れを追加し、29年度は医療機器整備、トイレ改修等を行うとのこと。

こと。29年度は、県事業で下田子地区農道整備、中山間地域総合整備事業の調査、計画の策定等の説明がありました。水道関係では、新田から遠瀬までの配水管、花木地区の導水管整備の説明がありました。

【産業振興課関係】

にんにくオリジナル種子の配布につき、3月下旬を目処に情報提供したいとのこと。森林資源活用検討委員会も29年度中に方向性を示したいとのこと。アンケートナシoppでは、売上実績と新体制の説明があり、29年度の重点事項として、パイプハウスの新規、再生事業等の各事業の説明がありました。

産業・民生常任委員会

【構成委員】 沢口博二委員長 日沢一雄副委員長 蹴揚清人委員
砂子田康雄委員 欠端則夫委員

防犯灯LED化ほぼ終了

【建設課関係】

世紀越えトンネルにからみ、鹿角市に啓発看板が設置されたとの

ありました。

平成28年度産の葉タバコ収納状況を調査

去る1月17日、盛岡市にある日本たばこ産業リーフセンターへ、地元産葉タバコの収納状況を視察してまいりました。

センター内に入り、Tの原料本部長から平成28年度産の葉タバコ

の状況を説明頂き、大変良好とのことでした。次に鑑定場に移動し、販売状況を視察い

ました。当日は種子総代区、池振・川向

総代区の方々が販売しておりました。販売は順調に進んでおり、かなりのタバコ包がAタイプ

の良品で通過していきま

担当者からの説明



最終の田子町の葉タバコ販売実績は農家戸数130軒、耕作面積16927アール、平均キロ単価1866円、10アール当たりの平均重量は245キロの成績でした。27年産と比較いたしますと、若干重量は落ちましたが平均反収で4万5613円と安定した収入になっておりました。当町でも数年前から立ち枯れ病対策として予算を計上して来ましたが、良い結果につながっていると思われ



葉タバコの品質鑑定

これからの課題といましては、後継者問題が近々の問題です。毎年、数名の耕作者が廃作しており、耕作面積も少しずつですが減少傾向にあります。これからも私は、葉タバコは安定収入作物として守って行きたいと思

(宮村尚哉)

新たな産業に漆の可能性を考える

1月24日、二戸市・三戸町・田子町議会議員協議会調査研究会が行われました。三市町に共通した産業、経済圏の発展とその調査を主眼に開催された今回の研究会では、「南部生漆生産地域の形成と越前式漆掻方」と題して、現新郷村教育長の橋本芳弘氏を講師に迎え、製法から生産、産

業の可能性について熱心に語っていただきました。橋本氏は昭和50年代に田子小学校において教鞭を執られ、私の恩師でありました。当時から漆掻きの研究に余念がなく、嬉々として語る様は子どもながらに驚嘆した思いがあります。

著書も多数あり、まさに今後の我が地域の漆産業を考察する上での先駆者であり、研究者でもあります。

当町には稀代の漆掻き刃物職人がおります。地域おこし協力隊

によるその技術の継承と漆文化・製品の掘り起こしに注視し、我々議会が参画できることを模索する。当地域、

我が町の「うるし」に対する認識・効能等を改めて深められた非常に有意義な研修となりました。

(宇藤大介)



講演に耳を傾ける参加者



講師の橋本芳弘氏

町民の声を議会活動と町政に 議員と町民の意見交換会へ

3月22日、議員と町民の意見交換会を開催しました。

午後6時から中央公民館と上郷公民館で開催し、議員が半分ずつ分かれて2会場に赴き、参加者から様々な意見を伺いました。

開催時間を約2時間と設定しましたが、2時間では足りないほど活発な意見交換が行われました。

詳しい内容は次回の議会だよりに掲載します。



中央公民館の様子



上郷公民館の様子

編集後記

毎回、文字どおり議員の手作りで発行していますが、議会の活動をわかりやすく丁寧に表現するのに苦労しています。なかなか町民の目には見えないものもありますので、そこも含めて、全てを公開したいものと願って発行しております。

いろんな企画、アイデア等がありましたら、ぜひ、我々議員にお話をいただければ幸いに存じます。全ては、町民のためにをモットーに議会も努力して参ります。

沢口博二

発行・編集責任者

議長 沢口 勝

議会広報編集委員会(第91号)

委員長 宮村 尚哉

副委員長 宇藤 大介

委員 日沢 一雄

尾形 憲男

沢口 博二

執筆協力 欠端 則夫